

アプリケーションカタログ スルファニル酸の定量

関連業界	:	有機工業品
使用装置	:	電位差自動滴定装置
測定手法	:	酸化還元滴定
関連規格	:	JIS K 4114

1. 概要

有機中間物としてのスルファニル酸 (Sulfanilic acid) の純度 (総アミン分) は、「JIS K 4114-1995 スルファニル酸」などに基づいて行います。試料を塩酸酸性にした後、臭化カリウムを加えて溶解し、これを 10~15°C の温度に保ちながら電位差滴定法により 0.1mol/L 亜硝酸ナトリウム溶液で当量点まで滴定します。滴定の終点は滴定曲線の変曲点です。

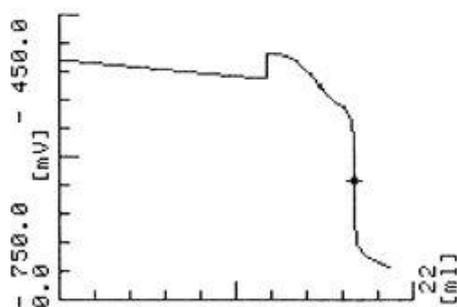
2. 装置構成

本体	:	電位差自動滴定装置 (標準プリアンプリファイア STD-)
電極	:	複合白金電極、温度補償電極

3. 試薬

滴定液	:	0.1mol/L 亜硝酸ナトリウム溶液 (f = 1.00)
溶媒	:	純水
添加試薬	:	塩酸, 臭化カリウム

4. 測定例



—滴定曲線—

—測定結果—

	採取量 (g)	滴定量 (mL)	スルファニル酸 濃度 (%)
1	0.3318	18.3910	96.001
2	0.3317	18.4038	96.097
3	0.3130	17.3555	96.037
平均			96.045
標準偏差			0.049
RSD (%)			0.05

詳細は、下記までお気軽にお問い合わせください。

<問い合わせ先> 京都電子工業株式会社

<http://www.kyoto-kem.com/ja/contact/form.php>